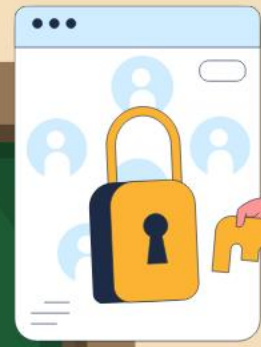


デジタルシティズンシップ
オンラインゼミ
書籍出版スペシャル

パスワードを 自分で設定しよう 管理しよう？

特別支援教育が特別じゃなくなる日を



自己紹介

- 樋井一宏（ひのい かずひろ）
- 大阪府立西浦支援学校 中学部
- 知的障害特別支援学校 14年目
- 特別支援学校（知・肢・病）、高等学校国語、中学校国語
- 教材配信サイト『ダッシュニンの特別支援教材室』管理人

<https://dashnin-kyouzaiko.com>



生徒の実態

- 知的障がい特別支援学校 中学部 3 年生
- 課題別学習グループ 4 展開中 支援レベル最軽度 10 人（出席 7 人）
- 学習指導要領 中学部 2 段階を目標とする生徒
- 規範意識が高く、学習意欲も高い生徒たち
- 日常会話が可能で小学校低学年～高学年の漢字の読み書きが可能。

四則計算ができる生徒

- 授業等で日常的にタブレット型端末（本校は iPad）を使用している。
- 家庭でも YouTube や TikTok 等 SNS を使用している。
- スマホや家庭用ゲーム機でゲームなども日常的に行っている。

授業に至る経緯

- 知的障害特別支援学校 中学部の生徒たち
端末の管理やパスワードの管理を周囲の大人が行うことが多い。

本校でも、GIGA端末の管理、持ち運び、充電を教員が行う
パスワードも教員が管理し、子どもたちが知らない（知らせない）ケースも

＊実践を行ったクラスでも多くの生徒が自分でパスワードの管理（設定）を行った経験なし

→卒業後、自分の端末を所持した際には
「端末・パスワードの管理」できる力が必要

授業のねらい

- 実際にパスワードを自分自身で設定する経験を通して、パスワードを設定することの意味について考えることができる。

- パスワードを自分で適切に管理する力を身につける。

＊忘れないための方法、忘れた時の対処法、
周囲の人の力を適切に借りる

授業の流れ

実際の端末や授業で使用するアプリケーションで行う。

- ①これまでの経験を確認する
- ②初期パスワードでログインしてみる
- ③なぜパスワードが必要か考える
- ④パスワードを教えても良い人について考える
- ⑤自分なりのパスワードの管理について考える
- ⑥実際にパスワードを設定する

授業の流れ

①これまでの経験を確認する

これまで、自分でパスワードを設定した経験の有無を質問する。

→生徒の状況を把握する

②初期パスワードでログインしてみる

→実際の端末やアプリを使った（実践ではGoogle→Canva）

パスワードの複雑さを知る。必要に応じて教員が入力（確認）の補助を行う。＊あくまで補助で、ログインは生徒自身が行う

授業の流れ②

③なぜパスワードが必要か考える

→必要に応じて「家と鍵」の例などを示す。また、初期パスワードが複雑になっていたことや、これまで大人が管理していたことも手掛かりとなる

生徒同士の意見交流や、意見の紹介で考えを深める

④パスワードを教えても良い人について考える

→「家と鍵」などの例を出したり、教員の経験を伝えたりする。

生徒同士の意見交流や、意見の紹介で考えを深める

授業の流れ③

⑤自分なりのパスワードの管理について考える

→教員の経験などを伝え、考える参考にする。

生徒同士の意見交流や、意見の紹介で考えを深める

⑥実際にパスワードを設定する

→パスワードの重要性を確認し、自分なりの方法で責任を持って管理していくことを伝え、設定を生徒自身で行う。

⑦まとめ

→本時の内容を振り返り、パスワードの重要性や安易に人に教えないこと、自分で責任を持って管理していくことを確認する

授業のポイントと授業までの準備

○端末を「自分のもの」と感じ、責任を持って管理することができる

○忘れてしまった時の対処法を事前に考える。必要に応じて適切に他者に助けを求めることができる

そのために

- ・ 端末の持ち運び、充電を自分で行う
- ・ 壁紙を自分で変える、キーボードを設定する
- ・ 約束を自分で考える ・ 質問して良かった経験を多く積む

ありがとうございました！！

HP

『ダッシュニンの特別支援教材室』

よろしくお願いします！！

